

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233122116	生徒指導論 Guidance and Counseling	山田陽平		教職	2	選択	2後期

科目の概要

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行うことも含む。本科目では、2022年に改訂された「生徒指導提要」に基づき、生徒指導の意義や生徒指導の構造、教育課程との関係、生徒指導を支える組織体制について学ぶ。また生徒指導上の各個別課題について、関連法規や対応の基本方針に照らしながら、未然防止や早期発見・対応といった観点から、指導に当たっての基本的な考え方や留意すべき事項を学ぶ。DP3「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。」を備えた栄養教諭となるためにも、この科目に真摯に向き合ってほしい。

学修内容	到達目標
① 生徒指導の意義を学ぶ。 ② 生徒指導を2軸3類4層構造で捉える考え方を学ぶ。 ③ 学習指導（教育課程）における生徒指導を学ぶ。 ④ ガイダンスとカウンセリング双方による生徒支援の重要性を学ぶ。 ⑤ チーム学校による生徒指導体制を学ぶ。 ⑥ 児童生徒の自己存在感を支える指導や環境構築を学ぶ。 ⑦ 校則・懲戒・体罰に関する主な法令の内容を学ぶ。 ⑧ 暴力行為・非行・いじめ・不登校等の課題および対応を学ぶ。 ⑨ インターネット・性に関する課題への対応等の今日的な生徒指導上の課題を学ぶ。 ⑩ 家庭・地域、専門家や関係機関との連携の在り方を学ぶ。	① 生徒指導とは「いつ」「どこで」「誰が」「誰に」「何を」「何のために」行うものかを説明することができる。 ② 生徒指導の2軸3類4層構造の各層の違いを説明することができる。 ③ 学習指導（教育課程）における生徒指導とは何をすることかを説明することができる。 ④ ガイダンスとカウンセリング双方による支援の重要性を説明することができる。 ⑤ チーム学校による生徒指導体制の基礎的な考え方を説明することができる。 ⑥ 児童生徒の自己存在感を支える指導や環境構築を例示できる。 ⑦ 校則・懲戒・体罰に関する主な法令の内容を説明することができる。 ⑧ 暴力行為・非行・いじめ・不登校等の課題及び対応を説明することができる。 ⑨ インターネット・性に関する課題への対応等の今日的な生徒指導上の課題を具体的に挙げるができる。 ⑩ 家庭・地域、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	教師になったことをイメージして考えている。
	働きかけ力	
	実行力	グループで協力して互いの理解を深め合うことを意識して行動している。
考え抜く力	課題発見力	次回までの課題は何であるかを考えている、わからないところを把握している。
	計画力	
	創造力	未経験のことでも自分のこととして考えを深めている。
チームで働く力	発信力	互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。
	傾聴力	グループメンバーの意見を聴いている、メモしている、テキストを読んでいる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	期限までに課題を提出した。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：未定。教科書販売時のリストを確認して購入してください。
 テキスト：生徒指導提要（改訂版）／文部科学省 2022年 文部科学省のホームページからPDFをダウンロードすることができるので書籍版の購入は必須としない。必要な場合は書籍版を自分で購入してください。https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm
 オープンエデュケーション：独立行政法人教職員支援機構「校内研修シリーズ」https://www.nits.go.jp/materials/intramural/

他科目との関連、資格との関連

「生徒指導論」は教職課程の「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に位置づけられる。以前に学習した「教育心理学」の発達に関する知識が活用できる。本科目のカウンセリングの知識は、その後履修する「教育相談」でさらに詳しく学習する。栄養教諭一種免許状を取得するために履修する必要がある。

学修上の助言	受講生とのルール
テキストの内容に従ってすすめます。テキストを読むことを基本とします。テキストに直接書き込んだり、図式化したりすることで理解しやすくなります。	すべての課題は授業期間中に実施します。定期試験はありません。課題を実施するときに欠席した場合は評価点が与えられないので注意してください。シラバスに記載の順ですすすめますが、順番等に変更がある場合は1週間前までにクラスルームを通して連絡します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①	⑥		
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
	平常評価	小テスト	60	①	⑥	授業中の複数回に分けて小テストを実施する。小テストは知識の獲得と活用を問う。それぞれ30%ずつの配分とする。知識の獲得は、生徒指導提要及びテキストの読解と記憶を確認する。テキストに記載の内容のみを扱う。30%知識の活用は、学習した生徒指導上の概念や事例を分類、区別、関係づけることができるかを確認する。テキストに記載されていない内容も扱う。30%
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤	⑩	
		レポート	10	①	⑥	各回の授業で課す予復習課題
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤	⑩	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	⑥	学校現場で起こりうるケースに対して、獲得した知識を活用した問題同定と解決提案を考えるパフォーマンステストを行う。受講者同士で討論している様子を録画・録音し、その自然な議論の中での回答を評価する。20%		
		②	⑦			
		③	⑧			
		④	⑨			
		⑤	⑩			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	⑥	以下の七つの観点それぞれに対して、授業中の様子や提出物で評価する。 主体性：教師になったことをイメージして考えている。 実行力：グループで協力して互いの理解を深め合うことを意識して行動している。 課題発見力：次回までの課題は何であるかを考えている、わからないところを把握している。 創造力：未経験のことで自分自身のこととして考えを深めている。 発信力：互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。 傾聴力：グループメンバーの意見を聴いている、メモしている、テキストを読んでいる。 規律性：期限までに課題を提出した。	
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S評価：平常評価において9割以上の得点率 A評価：平常評価において8割以上の得点率	B評価：平常評価において7割以上の得点率 C評価：平常評価において6割以上の得点率

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション：何ができるようになるか(学習目標)，何を学ぶか(学習内容)，どのように学ぶか(学習方法)，教職課程における本授業の位置づけを説明する。	講義	講義内容を聞き，復習課題を提出した。	予習：シラバスに目を通す。(10分) 復習：初回授業の話をもふまえて，授業を通して学べそうなことをまとめてクラスルームへ提出する。(30分)	40	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	生徒指導の基礎：意義・2軸3類4層構造・方法・基盤	講義	生徒指導とは「いつ」「どこで」「誰が」「誰に」「何を」「何のために」行うものかを説明することができる。生徒指導の2軸3類4層構造の各層の違いを説明することができる。ガイダンスとカウンセリング双方による支援の重要性を説明することができる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第1章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	チーム学校による生徒指導体制	講義	チーム学校による生徒指導体制の基礎的な考え方を説明することができる。家庭・地域，専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第3章3.1～3.4および3.7および1.4.3「家庭や地域の参画」に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	生徒指導に関する法制度等の運用体制	講義	校則・懲戒・体罰に関する主な法令の内容を説明することができる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第3章3.6および1.5.1「児童生徒の権利の理解」に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	生徒指導と教育課程	講義	学習指導(教育課程)における生徒指導とは何をすることかを説明することができる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第2章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	小テスト：テキスト第3章までの内容について，1) 読み取れているか，覚えているかを確認する。2) 学習した生徒指導上の概念や事例を分類，区別，関係づけることができるかを確認する。授業内で解答をフィードバックするので自己採点して理解状態を把握する。不明な点は他者や教員に質問して解消する。	小テスト，討論	小テストの正答率が80%以上である。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(180分) 復習：小テストで間違えたところ，討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	いじめ	講義	いじめについて，現状，法律，基本的姿勢，4層構造の対応を説明できる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第4章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	暴力行為	講義	暴力行為について，現状，法律，基本的姿勢，4層構造の対応を説明できる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第5章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	不登校	講義	不登校について、現状、法律、基本的姿勢、4層構造の対応を説明できる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第10章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	小テスト：テキスト第10章までの内容について、1) 読み取れているか、覚えているかを確認する。2) 学習した生徒指導上の概念や事例を分類、区別、関係づけることができるかを確認する。授業内で解答をフィードバックするので自己採点して理解状態を把握する。不明な点は他者や教員に質問して解消する。	小テスト、討論	小テストの正答率が80%以上である。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(180分) 復習：小テストで間違えたところ、討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	インターネットに関わる問題	講義	インターネットに関わる問題について、現状、法律、基本的姿勢、4層構造の対応を説明できる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第11章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	性に関する課題	講義	性に関する課題について、現状、法律、基本的姿勢、4層構造の対応を説明できる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第12章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	児童生徒の居場所づくりと安全・安心な学校環境	講義	児童生徒の自己存在感を支える指導や環境構築を例示できる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキストの指定箇所または配付資料に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	総括テスト・パフォーマンステスト：提示するケースに対して課題を同定し、解決策を考える。	テスト、討論	テストの正答率が80%以上である。提示するケースに対して課題を同定し解決策を考えることができる。	事前：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(180分) 事後：討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	授業のまとめ・補足・フィードバック	オンデマンド配信	授業を通して学べたこと、学びきれていないことをまとめることができる。	事前：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(60分) 事後：配信動画の視聴をふまえて、授業を通して学べたこと、学びきれていないことをまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力